

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	10	06	01	104660	地域スポーツ推進事業	
総合計画	分野	人づくり				
	政策	3-4 スポーツの振興				
	施策	1 生涯スポーツの推進				
目的	地域スポーツ（生涯スポーツ）の推進を図る。					
対象	スポーツ指導員、スポーツ推進委員、地域スポーツ普及員、参加を希望する市民等					
意図	市民に広くスポーツへの関心を持っていただくとともにスポーツをするきっかけづくりを提供する。					
	事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること					
①スポーツ指導員の配置 ②スポーツ推進委員の配置（市内40名） ③地域スポーツ普及員の配置（市内335名：各行政区選出） ④早起きマラソンの開催（市内69会場） ⑤スポーツ教室、イベント等の開催 ⑥ニュースポーツ等の普及 ⑦ニュースポーツ交流大会の開催 ⑧スノースポーツフェスティバルの開催						
市民参画の有無 【 対象外 】						
市民協働の形態		<input type="checkbox"/> 共催 <input type="checkbox"/> 後援・協賛	<input type="checkbox"/> 実行委員会・協議会 <input type="checkbox"/> 補助・助成	<input type="checkbox"/> 事業協力・協定 <input type="checkbox"/> 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	早起きマラソン延べ参加者数		計画	186,700	155,000	
			実績	154,845	138,172	
②	市スポーツ推進委員等が指導するスポーツ教室等の参加者数		計画	5,500	5,500	
			実績	5,822	5,963	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
①	地域で行うスポーツ教室や早起きマラソン等の延べ参加者数		目標	191,000	191,000	
			実績	172,792	155,267	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		<input type="radio"/> 目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
市スポーツ推進委員が指導するスポーツ教室や、市体育協会が主催するスポーツ教室の参加者数は、市広報紙やホームページでのPR活動、チラシの配布などにより、市民に定着してきたものと考えられ、増加若しくはほぼ横ばいの状況にある。 早起きマラソンの参加者数は平成29年度と比較すると16,673人の減少である。(H29:154,845人 H30:138,172人) 児童・生徒数が平成29年度と比較すると185人減少しており、各会場で参加者1名が減少したとすると、計算上1名×69会場×156日=10,764人となり、児童・生徒数の減少も大きな一因であると考えている。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない 市民が生涯にわたり積極的にスポーツに取り組むため、市民のスポーツ参加機会を増加させる必要がある。そのためスポーツ団体と協働し、多様化する市民のスポーツニーズに対応したスポーツ教室などの開催を推進する。
有効性	成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない 早起きマラソンの延べ参加者数は、少子化、高齢化の影響が大きく前年を下回っている。市内全域での取り組みを目指し、新規会場の設置や新たな参加者増への取り組みにより増加が期待できる。また、スポーツ推進委員による地域におけるスポーツ教室等を充実させることにより、参加者数の増加が期待できる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある <input type="checkbox"/> どちらも削減余地がない 市民の将来にわたる健康増進、体力向上を図っていくため、より一層の充実を図る必要がある。
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="checkbox"/> 適正である 市民がいつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しむために、市民のスポーツ参加の機会を増やす必要がある。そのため、早起きマラソンを推進するほか、多様なスポーツ教室の開催を推進する必要がある。
総合評価 …上記評価結果の総括	
国のスポーツ基本法第10条に規定する地方スポーツ推進計画として、またスポーツ基本計画を上位計画とする「花巻市スポーツ推進計画」を平成29年8月に策定した。この計画中の基本目標の柱の一つとして、生涯スポーツの推進が掲げられており、基本施策のライフステージに応じたスポーツ活動の推進、地域におけるスポーツ活動の推進の中心事業として位置づけられている。こうした中、これまでも早起きマラソンや各種スポーツ教室の開催などでスポーツをする機会の提供を行ってきており、一定の成果があったと考えている。今後も早起きマラソンについては、新規会場の設置など、新規会員の増加につなげる取り組みを行いたい。また、子どもから高齢者、障がい者がスポーツをするきっかけづくりとなるスポーツ教室、講習会等を開催し、市民が、いつでも、どこでも、いつまでも気軽にスポーツに親しめる事業の推進を図る必要がある。	

## 平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	01	104660	地域スポーツ推進事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		18,926	14,668		△ 4,258
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	18,926	14,668		△ 4,258

※特定財源の内訳
----------

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標

スポーツの振興

事業開始の背景・経緯

旧法：スポーツ振興法の規定に基づき、平成12年9月に文部大臣告示としてスポーツ振興計画を策定。その中で生涯スポーツ（現地域スポーツ）社会の実現のため、子どもの体力向上方策や総合型地位委スポーツクラブ設立の全国展開を行ってきた。その後、平成23年8月、スポーツ基本法を制定し、平成24年3月にスポーツ基本計画を新たに策定。平成29年3月第2期基本計画（H29～H33）策定。平成29年8月には、市スポーツ推進計画を策定した。

事業概要

- ①スポーツ指導員の配置
- ②スポーツ推進委員の配置（市内40名）
- ③地域スポーツ普及員の配置（市内335名：各行政区選出）
- ④早起きマラソンの開催（市内69会場）
- ⑤スポーツ教室、イベント等の開催
- ⑥ニュースポーツ等の普及
- ⑦ニュースポーツ交流大会の開催
- ⑧スノースポーツフェスティバルの開催

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 438

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①スポーツ指導員の配置 2,425千円  
報酬2,105（1名）、共済費320  
・生涯スポーツの指導実践・市民スポーツ教室の企画、運営

②スポーツ推進委員の配置 3,122千円  
報酬1,800（45×40名）、旅費663、需用費659  
・ニュースポーツ、生涯スポーツの普及、指導・各種スポーツ教室の企画、運営  
・岩手県、東北、全国の研修会への参加  
・各地区（振興センター単位）へのニュースポーツの普及

③地域スポーツ普及員の配置 1,285千円  
謝礼1,285（各地区協議会へ20+会員数割(1名3千円)）335名  
・地域（生涯）スポーツの普及、指導・実践・各地域スポーツ教室の企画、運営

④早起きマラソン 2,335千円  
謝礼1,825千円、需用費510  
・5月第1週から10月体育の日まで（156日間）、市内69会場にて開催  
・延べ総参加者約138,172人  
・普及月間（5月～6月）、強調月間（7月～8月）  
・年間三賞（皆勤、精励、努力賞）の表彰

⑤スポーツ教室、イベント等の開催 764千円  
鉛温泉スキー場イベント179（スキー場開き、スキー場祭り等）  
子どもチャレンジランキング大会150  
市民スノースポーツフェスティバル216  
体力測定会219

⑥ニュースポーツ等の普及、ニュースポーツ交流大会の開催 335千円  
備品185、委託料150

⑦その他経費 4,402千円  
賃金1,675（補助員1名、大会作業員、看護師等）、報償費191、旅費399  
需用費1,262、役務費93（自動車保険料等）、富士大開放委託0  
その他委託349、借上料433

平成 30 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	01	104670	地域スポーツ支援事業
総合計画	分野	人づくり			
	政策	3-4	スポーツの振興		
	施策	1	生涯スポーツの推進		
目的	地域スポーツ（生涯スポーツ）の支援を行う。				
対象	花巻市、石鳥谷町、大迫町、東和町体育協会、花巻市スポーツ少年団本部、総合型地域スポーツクラブ、実行委員会等				
意図	地域スポーツ（生涯スポーツ）の普及、健康増進、体力向上を図る。				
事業概要	…上記目的を実現するための事業手法を記載すること				
	①花巻市、石鳥谷町、大迫町、東和町体育協会 地域スポーツ振興事業補助金の交付（総合型地域スポーツクラブ等活動支援） ②花巻市スポーツ少年団本部事業補助金の交付				
市民参画の有無	【 対象外 】				
市民協働の形態	共催		実行委員会・協議会	事業協力・協定	
	○ 後援・協賛		○ 補助・助成	委託	
活動指標（上記「事業概要」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 体育協会及びスポ少本部主催のスポーツ教室等の実施回数	回	計画	320	320	
		実績	358	342	
② スポーツ少年団本部への登録者数	人	計画	2,260	2,181	
		実績	2,181	2,141	
③		計画			
		実績			
成果指標（上記「意図」に対応）	単位	区分	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
① 体育協会及びスポ少本部主催のスポーツ教室の延べ参加者数	人	目標	3,000	6,000	
		実績	6,073	5,215	
②		目標			
		実績			
③		目標			
		実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		○ 目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)	
成果指標である、体育協会及びスポ少本部主催のスポーツ教室の延べ参加者数については、昨年度に大幅に目標値を上げることとしたが、今年度は、目立った減少はなかったが、全体的に低い参加者数となっており、目標値に届かなかった。 市体協等への地域スポーツ振興事業及びスポーツ少年団本部事業は、企画事業数及び参加者数ともに、近年は、横ばいとなっている。しかし、スポーツ少年団本部登録者については、少子化により毎年若干減少しており、その歯止め策が無い状態である。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 <input type="radio"/> 妥当である <input type="radio"/> 見直し余地がある <input type="radio"/> 妥当でない
有効性	成果の向上余地 <input type="radio"/> 向上余地がある <input type="radio"/> 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 <input type="radio"/> 事業費の削減余地がある <input type="radio"/> 人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 <input type="radio"/> 受益機会の見直し余地がある <input type="radio"/> 費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である
総合評価 …上記評価結果の総括	
国のスポーツ基本法第10条に規定する地方スポーツ推進計画として、またスポーツ基本計画を上位計画とする「花巻市スポーツ推進計画」を平成29年8月に策定した。 この計画中の基本目標の柱の一つとして、生涯スポーツの推進が掲げられており、基本施策のライフステージに応じたスポーツ活動の推進、地域におけるスポーツ活動の推進の中心事業として位置づけられている。 こういった中、市民のスポーツ参加の機会を増加させるため、市体協等や各競技団体・総合型地域スポーツクラブなどと協働し、多様化する市民のスポーツニーズに対応した多様なスポーツ教室の開催を推進する必要がある。	

平成 30 年度 事業説明資料 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	10	06	01	104670	地域スポーツ支援事業

単位：千円

		29年度 決算額(A)	30年度 決算額(B)	31年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		23,543	23,616		73
財 源 内 訳	国・県				
	地方債				
	その他				
	一般財源	23,543	23,616		73

※特定財源の内訳
----------

事業期間	<input type="radio"/> 単年度繰返	期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	-----------------------------	------	-----------------

部重点施策における目標  
スポーツの振興

事業開始の背景・経緯  
旧法：スポーツ振興法の規定に基づき、平成12年9月に文部大臣告示としてスポーツ振興計画を策定。その中で生涯スポーツ（現地域スポーツ）社会の実現のため、子どもの体力向上方策や総合型地位委スポーツクラブ設立の全国展開を行ってきた。その後、平成23年8月、スポーツ基本法を制定し、平成24年3月にスポーツ基本計画を新たに策定。平成29年3月第2期基本計画（H29～H33）策定。平成29年8月には、市スポーツ推進計画を策定した。

事業概要

- ①花巻市、石鳥谷町、大迫町、東和町体育協会 地域スポーツ振興事業補助金の交付（総合型地域スポーツクラブ等活動支援）
- ②花巻市スポーツ少年団本部事業補助金の交付

意見・要望等の状況（市政懇談会や支所執務、議会答弁対応その他意見・提言等）

担当部署 部名 生涯学習部 課名 スポーツ振興課 担当係長 菅 史 内線 438

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。  
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

①地域スポーツ振興事業補助金 23,116千円  
事業主体 一財 花巻市体育協会、石鳥谷町体育協会、大迫町体育協会、東和町体育協会  
事業概要

- スポーツ大会開催、各種競技団体への補助（花巻市体育協会）
- 総合型スポーツ教室の企画、運営⇒幼児・小学生～高齢者まで生涯スポーツの普及推進  
幼児マット教室、小学生陸上、卓球、ハンドボール教室、中高年体幹トレーニング等  
H28延べ件数377回、参加者数6,458人
- プロ（トップ）スポーツ観戦支援事業補助
- 旧3町体育協会への補助

事業費内訳

花巻市体育協会	スポーツ大会開催費	1,270	(大会開催50、市民体育祭1,220)
	総合型スポーツ教室開催費	2,900	
	県民大会結団式等	150	
	表彰事業	200	
	人件費	16,586	(3人分)
	事務費等	510	
旧3町体育協会	大会開催運営費	1,500	(大迫町500、石鳥谷町500、東和町500)

②スポーツ少年団本部事業補助金 500千円

- 事業主体 花巻市スポーツ少年団本部
- ・H30は、75団体（野球、サッカー、バスケットボール等）加盟
  - ・登録料 指導者：@1,200円 団員：@500円

	H26	H27	H28	H29	H30
団体数	78	75	75	75	75

事業概要

- 指導者育成を図る  
スポーツリーダー養成講習会、指導者講習会への派遣
  - 選手強化、競技の普及を図る  
スポーツ少年団大会（野球、ソフトボール等）への補助
- 事業費 2,012（県登録費1,131、事業費〔大会、研修等〕668、事務局費等213）